も解りので

佐藤現場代理人（左から2番目）から指導を受ける生徒たち

宮建協大崎支部

古川工業高校の体験学習

会員企業6社が協力

県建設業協会大崎支部（菅原伸介支部長）の会員企業6社は11日から本日までの3日間、古川工業高校の土木情報科の生徒3人ずつを受け入れ、ルの設置やトータルステーションを用いた測量実習に2人と女子生徒1人がレベル未来の建設技術者の育成に貢献するため、現場実習に協力している。同支部では、8年度から同高のインターンシップ実習に協力しており、建設産業の魅力を伝える活動を行っている。

受け入れ企業の一つである佐藤工務店（大崎市、佐藤敦代表取締役）の「鳴瀬川鹿島台管内下流維持工事」現場では11日、佐藤弘康現場代理人の指導のもと、男子生徒は丁張の設置訓練などを実施する予定だという。

作業を見守った佐藤現場代理人は「仕事というものはどれも大変であるが、今回の実習などの経験をもとに、業界に進んでいただきたい」と地域の将来を担う若手にエールを送った。

今回、古川工業高校の現場実習を受け入れた会員企業は同社のほか、丸か建設（加美町、佐々木浩章代表取締役）、石堂建設（美里町、石堂昌宏代表取締役）、村田工務所（大崎市、村田秀彦代表取締役）、仙北建設（同、高橋克幸代表取締役）、金原土建（同、金原知宏代表取締役）となっている。

興交付金

工事費を申請

30年度分の工事費要求

女川町 漁集12地区に37億円

19回復興交付金

牡鹿郡女川町の19回復興交付金申請額は、町事業が事業費ベースで46億8328万円となった。

このうち、36億9000万円は、12地区の漁業集落防災機能強化事業で、30年度分の工事費に充てる。工事は都市再生機構を通して鹿島・オオバJVに発注される見通し。

漁集事業では、津波被害を受けた14地区の漁村集落で、地盤のかさ上げと、水産関連用地や避難路などを整備しており、すでに桐ケ崎地区と小屋取地区の工事が完了した。残る12地区は▽指ケ浜▽御前浜▽尾浦▽竹浦▽高白浜▽横浦▽大石原浜▽野々浜▽飯子浜▽塚浜▽出島▽寺間――となる。このうち、出島と寺間は離島に位置している。

19回申請では漁集事業以外に、防災集団移転促進事業の発生土ストックヤード整備事業に3億8329万8000円、清水公園整備事業に9114万5000円、メモリアル公園整備事業に4726万1000円を要求。いずれも30年度分の事業費で、2カ所の公園は設計費に充てる。

清水公園は、清水地区の二級河川女川沿いに整備する。対象面積は約10ha。町中心部の宅地造成と一体的に土地区画整理事業で基盤整備まで進め、駐車場や広場、管理棟などを整備する予定。公園の整備計画等策定業務は三井共同建設コンサルタント（MCC、東北支社・仙台市青葉区）に委託した。

メモリアル公園は、町中心部の国道398号より南側に観光交流エリアを設け、その中に整備する。対象面積は女川湾沿いの5～6ha。土地区画整理事業で基盤造成まで行い、広場や緑地、駐車場などを配置する構想だ。観光交流エリアの整備計画等策定業務は協和コンサルタンツ（東北支社・仙台市青葉区）に委託した。

道は、神明崎を囲むように県と市が桟橋形状で架設し、遊歩道として利用する。

市が再建するのは、五十鈴神社の正面部分で、延長約31mの遊歩道と、浮見堂。両サイドには、県が延長112mの遊歩道を設け、一体化する。再建の詳細設計業務と基礎調査業務は、市と県の両方を長大（仙台支社・仙台市若林区）が担当している。

19回目の交付金申請ではこのほか、新規で魚市場の備品（電動ホークリフトや乗車型洗浄機等）整備に4億3723万円、継続で鹿折地区と南気仙沼地区の土地区画整理事業に90億6400万円、両地区区画整理地内の道路整備事業に15億7000万円を求めるなどした。

害達成

川工事長は安全のポイントについて「クレーン作業はフーコーンで盛土路肩レータに示して横転を防と、安全施設は常に先働者数は1万0016ほる。

防を幅12・5mの岩沼防災道路」の兼用堤と事も担当した。工期は月19日～29年8月10日。りながら教えてくれた。

このほか、吹流しのほか3色の回転灯付き風速計を設置し強風に対応。注意時や作業中止時が現場の全員に一目で分かるよう「見える化」を図った。また広い現場では作業員の末端、現場の隅々まで目が行き届くよう職長と協力して声掛けを日々行うなど、声を上げやすい現場づくりにも取り組んでいる。

竹本労基部長は「協力会社さんの指導も含め大変ではあるが、地道な活動を積み重ねて無災害を継続してほしい」と激励した。

スマイルリバー活動を展開

会員約40人が参加

宮建協大崎支部

県建設業協会大崎支部（菅原伸介支部長）は12日、化女沼周辺で恒例となる環境美化活動を実施した（写真）。同支部は22年9月に化女沼周辺のスマイルリバー団体に認定され、年2回の活動を実施しており、今回で15回目となる。当日は支部会員企業から約40人が化女沼湖畔の自由広場に集合した。

今回の作業では、田尻川～化女沼導水路の右岸と左岸を合わせた約1・6㎞にわたって草刈りを実施した。作業員はナタや電動草刈機を手に、視界を遮るほど成長したススキやネットフェンスに絡みついたツタなどを約2時間かけて丹念に刈り取った。

大崎支部青年部会の遠藤康之部会長は「ボランティア活動を通して、化女沼周辺の不法投棄などが激減していることを実感している。訪れる人が気持ちよく過ごせるよう、今後も環境美化活動を継続していきたい」と述べた。

北上土地改良

BOX表面を劣化対策

江合川地区 プロポで検討委託

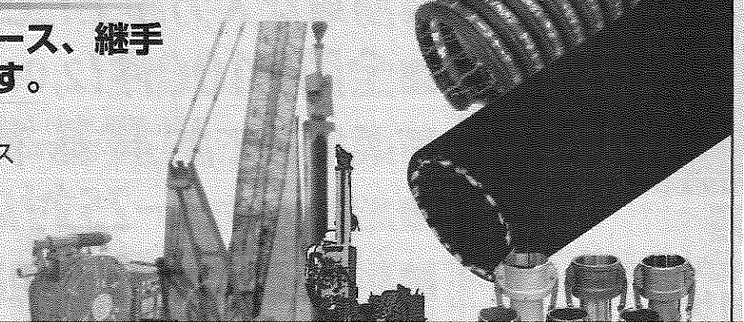
農林水産省北上土地改良調査管理事務所は、江合川地区（美里町）に設けられた右京江取水工樋管の表面被覆材が劣化ではがれていることから、要因検討業務に着手する。同樋管はBOXカルバート製。10日付で同業務の簡易公募型プロポーザルを公告しており、20日まで参加表明書、30日～11月20日に技術提案書を受け付け、同29日までに委託先の特定結果を通知する。

同樋管は、内空断面が幅2・2m、高さ1・5mで、延長が21m。過去にコンクリート表面のひび割れや目地の開きが確認されたため、表面被覆材を設けた。その表面被覆材がはがれたため、ストックマネジメント技術高度化事業で劣化要因を検討する。

今回の業務では、劣化要因を明らかにした上で、長寿命化に向けた対策工法を検討する。表面だけでなくBOXの躯体自体も調査する。履行期間は30年3月16日まで。

プロポの参加資格は、東北農政局から建設コンサルタントがA等級の資格認定を受けていることなど。参加表明書の選定結果は、27日までに通知する。

ホースの事ならお任せください!!



基礎工事・土木工事用ホース、継手
各種取り揃えてございます。

・セメントグラウトホース
・ジェットカッター用高圧ゴムホース
・サクション／デリバリーホース
・高圧洗浄用ゴムホース
・油圧用高圧ゴムホース
・各種配管継手、ホースアダプタ
・カムロック継手

宮城県アスファルト合材協会は当協会所属工場の

第２土曜日の閉所を推進します！